

委員長報告・地区派遣役員報告

■地区プライダル委員会 委員 岡部 勉



昨日 2/26 (日)、婚活イベント「再婚さんいらっしゃい」が無事行われました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。6/3 (土) には、バーベキュー婚活イベントを開催予定です。そちらもよろしく願いいたします。

米山功労法人 感謝状授与

■万寿長園株式会社 増永 裕樹 会員



卓 話

石坂産業株式会社 執行役員
友國 裕弘 様

Sustainability (持続可能) から
Regeneration (再生) へ



ご紹介

■職業奉仕委員会 委員長 増永 裕樹

本日は SDGs 企画です。産業廃棄物処理を手掛けられている石坂産業の、友國様に卓話をお願いしました。会員の皆様の産廃処理のイメージは？ 山奥で処理しているイメージではないでしょうか。それが驚くことに、IT を導入した高度に制御された工場で資源を回収されているのです。また周りは森です。昔からあったのではなく、荒地に手を入れ保護し森を育て、レクリエーション施設を作ったのです。感銘をうけました。石坂産業は、ビジネスとして成り立たせ地域とも共生する、日本の数少ない企業だと思います。

友國 裕弘様 ご経歴

大阪府生まれ。大阪府立大学工学部卒業後、大阪府庁入庁。主に流域下水道建設に従事。外務省への派遣で1995年APEC大阪会議を支援。海外派遣研修でカリフォルニア大学バークレー校に短期留学。

国際ロータリー財団 1997-98 年度国際親善奨学生 (2660 地区、ホスト豊中 RC) として米アリゾナ州サンダーバード国際経営大学院 国際経営学修士課程を最優等で修了。日本 NCR 株式会社 執行役員、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 理事など官民の役職を経て、石坂産業株式会社入社。戦略業務担当執行役員として、DX、エネルギー、脱炭素、コーポレートブランディングを推進。

IMAGINE ROTARY

イマジンロータリー



石坂産業は、創業 56 周年を迎える産業廃棄物の中間処理会社です。

SDGs という言葉のない時代から、「どこかの企業の廃棄物をどこかの企業の資源にする」活動を続けてきました。今は、環境教育や有機農業も行っています。

主に扱うのは、世界ではほとんどが埋め立てされている建設系廃棄物です。その再資源化に取り組み、減量化・再資源化率 98% を達成しています。

「Zero Waste Design」が必要な理由
世界人口の増加とともに廃棄物が加速度的に増え、2050 年には現在の 2 倍の廃棄物が地球を覆うと予測されているからです。

日本の循環利用率 (再利用・再生利用率) はわずか 16%。枯渇性資源を掘り尽くすのではなく、既に地表にあるものを繰り返し利用して、廃棄物を残さないように循環させること。それを誰かがやらなければならないのです。

